

東北地方太平洋沖地震から3週間

わたしたちができること



甚大な被害を受けた東北地方

3月11日午後2時46分ごろ、国内観測史上最大のマグニチュード9.0の大地震が三陸沖を襲いました。この東北地方太平洋沖地震により、東北地方などでは津波や火災などにより広範囲で甚大な被害が発生しました。

本市でも震度5強を観測する地域があるなど、市内全域で今までに感じたことのないほどの強い揺れがありました。現在でも余震が続く、予断を許さない状況です。こんなときこそ、国民全員が力を合わせなければなりません。自分にできることをやる。そんな積み重ねが大きな力になります。行動してください。あなたにできること。

本市の被害状況 (3月24日現在)

■人的被害

死者…なし

負傷者…1人(軽症)

■住家などの被害…2,094件

全壊…なし

半壊…なし

住家一部被害(屋根瓦などの落下)…1,534件

石塔などの転倒…499件

ブロック塀破損…25件

水道管破損…6件

その他…30件

■市有施設被害…137件

・市役所本庁舎、議会棟、出先機関など(外壁一部破損、ガラス破損など)…38件

・水道関係施設(ポンプ停止、漏水など)…19件

・清掃施設(炉停止)…2件

・市営住宅(断水、漏水など)…31件

・公園施設(施設外壁一部破損など)…7件

・教育施設(外壁破損、タイルはく離)…40件

問い合わせは
義援金やボランティアについては

危機管理室 ☎898-5935
いきいき生活課 ☎898-6236
ボランティアセンター ☎232-3848

前橋市に できること

被災地支援

■災害対策本部を設置

本市は災害発生直後の午後2時58分、災害対策本部を設置し第1回目の災害対策本部会議を開催しました。その後、3月22日までに計9回の会議を行い、本市における被害の状況把握と対策、そして被災地への支援活動を決定しています。本市は全力で

■被災地への支援活動

●3月11日 福島県への緊急消防援助隊第1陣20人を派遣。

●3月12日 茨城県水戸市へアルファ米、乾パン、飲料水、毛布150枚などの4トトラック1台分の第1次支援物資を提供。

●3月12日～3月18日 茨城県水戸市へ給水支援のため職員を8人派遣。

被災地支援に取り組んでいます。

■市内の被害状況把握と対応

被災翌日の3月12日、職員が各自治会長を訪問し、それと合わせて地域の被害状況を調査しました。また、建築技師職員による市内全域の家屋の破損状況の調査を実施。その調査をもとに、屋根の損壊があった家屋に見舞金による支援を行うことを決定しました。また、東京電力が実施する計画停電への広報協力活動を3月14日から18日まで行いました。

●3月14日 福島県へ緊急消防援助隊第2陣9人を派遣。

●3月15日 茨城県茨城町へアルファ米、乾パン、飲料水など4トトラック1台分の支援物資を提供。

●3月16日 茨城県水戸市へブルーシート700枚、紙おむつ5,000枚以上、粉ミルクなどの4トトラック1台分の第2次支援物資を提供。

●3月18日 福島県へ緊急消防援助隊第3陣17人を派遣。

●3月18日～4月27日 宮城県へ保健師10人を派遣。

■被災した中核市と本市への避難者への物資の支援

3月23日から27日まで、被災した中核市(盛岡市・郡山市・いわき市)と、本市に避難してきた人々への支援物資を募りました。



水戸市での給水活動



相馬市で捜索を行う消防隊員



水戸市へ支援物資を提供



市民から寄せられた支援物資